

安全管理

Safety Management

コスモ石油グループでは、安全操業、安定供給を経営の最重要課題のひとつと位置づけ、「安全に関する基本方針」にその旨を定めて、自主保安の強化を中心とした全社安全管理活動に取り組んでいます。

✦ 安全に関する管理体制 および取り組み

コスモ石油は、全社的な安全管理組織として、安全環境部担当役員を本部長とする総合安全対策本部を設置し、安全活動を推進しています。

毎年、全社安全目標を策定し、各事業所では、この目標に基づいた事業所の安全目標を策定し実行しています。

2004年度は、「自己責任・自主保安精神に基づく全社安全管理水準の向上」を全社安全目標に掲げ、保安管理体制、危機管理体制などの強化に取り組んできました。

また、総合安全対策本部では、製油所、油槽所、物流部門、販売部門に対し、安全査察を定期的実施しており、安全管理状況を直接確認し、必要に応じて改善指導、提言を行うとともに、現場との一層のコミュニケーションを図っています。

製油所等では、所長を委員長とする安全衛生委員会を中心として、社員および協力会社員が一体となって、危険予知訓練、ヒヤリカモシレ活動など一人ひとりの安全意識の啓発、事故事例の水平展開による再発防止の徹底、保安教育による能力向上などの安全活動に取り組み、操業事故や労働災害の未然防止を図っています。

これらの取り組みの結果、2004年の4製油所の操業事故は1件、社員の労働災害件数は休業災害1件、不休業災害2件でした。油槽所での操業災害は0件でした。

✦ 製油所の安全管理システム

製油所では2004年度から、「リスク管理型の安全管理システム」を本格運用し、自主保安の継続的な強化を図っています。

主なリスク管理としては、既存装置の安全性評価（危険源の特定とリスク評価）による継続的な装置のリスクの低減を実施しており、また、装置の新設時などにも、安全性評価を実施しています。

❖ 事故・災害の未然防止・早期発見と緊急時対応

安全操業・安定供給は企業の社会的責任です。

安全の確保のためには、災害を未然に防ぐ「未然防止」と万一の発生時に被害を最小限に食い止める「緊急時対応」の2つの側面からの取り組みが必要です。

コスモ石油では、この2つの側面について、製油所、油槽所、物流（タンクローリー、内航タンカー）、SS（サービスステーション）の各段階で、ハード・ソフト対策を行い、安全管理の徹底に努めています。万一、大規模災害が発生した時には、社長を本部長とする総合災害対策本部を本社に、また被災地に現地対策本部を設置して、迅速かつ適切な災害鎮圧と拡大防止を図ります。

● 事故・災害の未然防止と早期発見

事故や災害の未然防止には異常の早期発見が重要です。日常的な運転状況の監視や綿密なパトロール、また定期的な設備検査や設備の経年劣化の検査や、各種検知器などを設置して異常の早期発見を図っています。

その他以下のような対処を実施しています。

- ・製油所、油槽所
大規模地震に備えた対応として、設備の耐震性確認、津波来襲時の対応検討や屋外タンクの耐震性向上対策などを実施しています。
- ・物流部門
混油防止装置の設置や安全査察の実施等による事故・災害の未然防止に取り組んでいます。
- ・販売部門
SS建設工事や日常業務における安全点検と老朽化施設の計画的補修などを実施しています。また、一定規模以上の地震発生時には、地下設備の検査を実施しています。

● 緊急時の対応

- ・製油所、油槽所などでは万一の火災発生などに備えて、消火設備の設置、大型化学消防車の配備などをはじめとした防災体制を整備しています。
また自衛消防隊を組織して、定期的に防災訓練や通報訓練を行っています。
- さらに、近隣企業との共同防災組織の構築や公共機関との合同訓練を行うなど、地域防災との連携に努めています。
- ・漏油時の対策については、タンクを防油堤で囲み外への流出を防止するとともに、万一の海上流出に備えてオイルフェンスやオイルフェンス展張船、油回収船を配備しています。
- ・石油連盟では油濁防除資機材基地を国内外に設置して大規模石油流出災害に備えています。コスモ石油は敷地の一部を提供して3号伊勢湾基地の運営に協力しています。

❖ 改正SOLAS条約への対応

2004年7月1日から国際港湾テロ対策強化の改正SOLAS条約が発効され、国際港湾施設等の保安対策の強化が図られています。国の指導のもと、該当する国際港湾施設の立地、保安レベル等の状況に応じたソフト・ハード措置を実施し、港湾施設の保安体制の強化に取り組んでいます。

❖ 連結中期安全計画

2005年度からは、安全管理活動の範囲を広げ、コスモ石油と現業部門を持つ関係会社で連結中期安全計画を策定し、実行します。

連結中期安全計画では、「安全管理体制の仕組み整備」、「潜在リスクの抽出・評価および低減」、「危機管理体制の充実・強化」および安全意識・スキルの向上を目的とし

❖ 2004年安全トピックス — 新潟中越地震 —

2004年10月の新潟中越地震時には東京支店に緊急対策本部を設置し、以下の対応を速やかに実施しました。

- ・SSの被災状況の調査。
- ・震度5以上の地区の当社系列SSに地下設備の検査を実施。
- ・救援物資の送付。

た「教育訓練の計画的実施」を主なテーマとして取り組みます。

コスモ石油グループとして統率された安全管理体制を構築し、自己責任に基づいた自主保安の積極的な推進によりさらなる安全操業・安定供給の確保に努めていきます。